

チェリーの会だより

発行者 公立那賀病院内 乳がん患者会 「チェリーの会」

ニュースレター No.24 2018年7月発行

「久しぶりに会う素敵な仲間」 「たくさんの笑顔」

2018年6月30日に第59回チェリーの会が開かれました。今年に入って初めての開催となりましたが15名の方にご参加いただきました。

この日は内藤先生の後任として着任された中村理恵先生もきてくださいました。そして6月30日と言えば、我らが玉置先生のバースデー。何かがありそうですね。何かあったのかは後ほど。



前半の学習会は「臨床試験・治験とは？その参加方法は？」をテーマに玉置剛司先生にお話していただきました。

まずは、玉置先生のお好きな歴史と併せて、昔と今の医学の違いや共通点などを楽しく、分かりやすくお話しくださいました。

治験は「治療の臨床試験」

臨床試験では異なる薬の比較をすることや、標準治療として確立された「分子標的薬」などを具体例にあげながら、お話が進められました。

新しい薬ができるまでには、臨床試験を含め基礎研究の段階から10～15年かかります。

臨床試験とは？

- ◆大切な人を幸福にするためのもの
- ◆実験的治療である
- ◆医学の進歩のため多くの患者の協力が必要とされる
- ◆社会貢献のひとつ
(次ページに続く)



中村理恵先生(写真中央)を囲んで。

とても優しい中村先生。これからよろしくお願いします。



診察中のような雰囲気一枚。何でも相談に乗っていただけそうです。



中村先生と玉置先生。貴重なツーショット。この日、実は、先生方へのサプライズを計画。果たして、成功するのでしょうか。

参加するには、主治医・担当医に相談し、実施している病院に紹介してもらい、十分な説明のもと、理解・納得・同意して行うことが必要だということです。

お話の最後に、氾濫するがん治療の情報についても教えてくださいました。

- ◆情報の信頼度が低いもの・危ない治療の特徴
- ・安っぽく、きらびやかなキャッチフレーズ
- ・治療の提供方法が一般的ではない

玉置先生のお話では、治療の順番は決まっているもので、仮に再発時の治療が3番手まで決まっているのなら、4番目の治療として、臨床試験を検討するなど、自分の状態を把握することが大切だとおっしゃいました。

予定の時間をオーバーしても短く感じる玉置先生のお話、スライドが終わりそうになったところで、中村先生のスマホが、タイミングよく終了を知らせてくれて、部屋の中は温かい笑いに包まれました。ありがとうございました。

この後、別室に移動し、中村先生の歓迎会と、玉置先生のお誕生日会を開催しました。先生方には内緒のサプライズパーティーだったので、成功するのかどうか、ドキドキしていましたが、サプライズ大成功で、先生方にも喜んでいただけました。笑いの絶えない時間でした。



中村先生、これからよろしくお願ひ致します。

玉置先生、いつもありがとうございます。

Happy Birthday !



がんに関する相談はこちらへ
公立那賀病院
がん相談支援センター

電話番号：0736-78-3892
受付時間：月～金 9:00～16:00
(祝日・年末年始などの休診日を除く)

編集／発行：公立那賀病院内 乳がん患者会
チェリーの会



ウェブサイト

<http://cherry.fz-web.com/>

eメール

cherry@fz-web.com